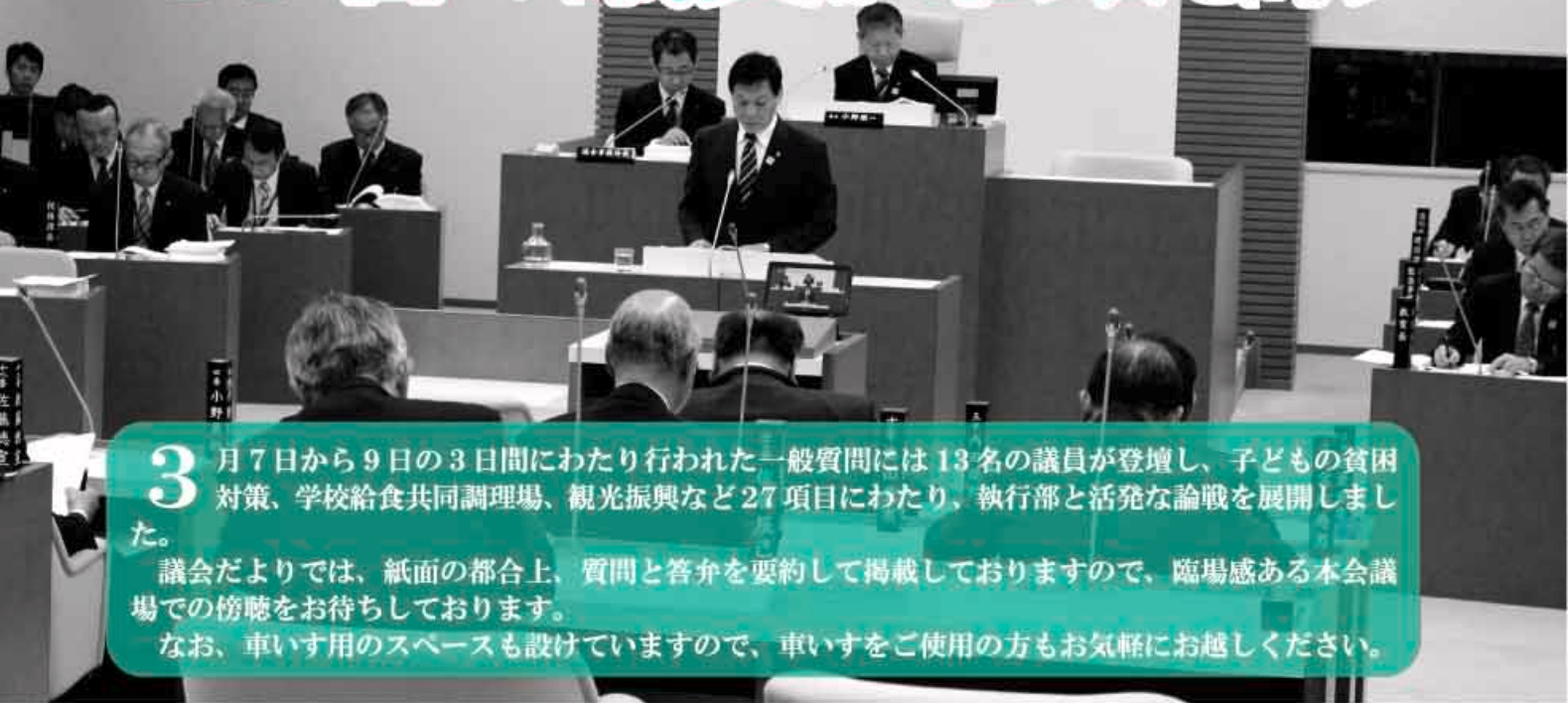


13名の議員が市政を問う



3月7日から9日の3日間にわたり行われた一般質問には13名の議員が登壇し、子どもの貧困対策、学校給食共同調理場、観光振興など27項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

一般質問

● 恵藤千代子 (9ページ)

- ・子どもの貧困対策は
- ・子どもの友好を
- ・移住・定住の促進を

● 川野優治 (10ページ)

- ・里の旅公社の県補助金返還の責任は

● 首藤正光 (11ページ)

- ・生活保護支給について

● 内田俊和 (12ページ)

- ・豊後大野市の観光振興について

● 朝倉秀康 (13ページ)

- ・どうする買い物弱者を
- ・幻の蝙蝠滝とは

● 生野照雄 (14ページ)

- ・特色ある学校づくり
- ・どうなるふるさと納税
- ・どうする猿の食害対策

● 衛藤竜哉 (15ページ)

- ・大丈夫か？ジオの再認定
- ・どげえなっちょる、学校林は

● 工藤友生 (16ページ)

- ・ブランド化・販路拡大の強化は
- ・今後の観光振興は
- ・地域リーダー育成事業とは

● 衛藤正宏 (17ページ)

- ・地域が主体の協議会とは
- ・子育て環境整備を

● 神志那文寛 (18ページ)

- ・TPP参加による本市への影響は
- ・JR緒方駅無人化への対応について

● 小野勇治 (19ページ)

- ・給食調理場の民営化の費用対効果は

● 佐藤徳宣 (20ページ)

- ・市の防災対策は
- ・大規模災害に備えた自治区の取り組みは
- ・公契約条例について

● 宮成昭義 (21ページ)

- ・ぶんごるの実践での市政指針は
- ・救急車における搬送、受け入れ、到着時間は

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一问一答方式で行っている。



えとうちよこ
恵藤千代子

市民クラブ

質 国の調査では子ども6人に1人は※貧困という結果が出ているが、本市の現状と今後の取り組みは。

子どもの貧困対策は

～重要課題であり、各種施策を実施し、今後も拡充を～

答 市長
本市は国と同様の調査をしたことがなく、貧困率の統計データは持ち合わせていません。1つの目安として幼稚園や保育所利用者負担金の階層別負担額に当てはめた場合、平均すると13・8%です。7・2人に1人が貧困と考えられます。さらに小・中学校の就学援助認定数では、平均11・1%が認定されています。

子どもの貧困は重要かつ喫緊の課題であり、平成28年度予算で、子どもの学習支援や子育て短期支援事業等を計画しています。

質 郷土の誇り朝倉芸術を介し、感性豊かな子どもを育むために友好都市台東区との交流を復活しては。

答 まちづくり推進課長
目的や手法、財源の確保等、今後台東区及び関係部署と検討します。

子どもの友好を

～台東区及び関係部署と検討する～

質 人口減少対策とオリジナル住宅構想事業の進捗状況は。

答 まちづくり推進課長
全市挙げて人口減少対策に取り組みます。オリジナル住宅構想

移住・定住の促進を

～旧大野高校跡地に分譲地～



旧大野高校跡地

の土台となる土地として、旧大野高校跡地を造成工事し、平成29年度から分譲地(26区画・1区画約100坪×120坪)を販売予定です。若者向けの低価格住宅の価格は1千万円以下を基本とし、建築を希望する方々に提供

できる予定です。また、新たにふるさと納税返礼品に本市への滞在メニューを加え、本市の魅力を経験していただく等、各種施策と連携しながら、本市の魅力を発信していきます。

※貧困＝厚生労働省の国民生活基礎調査では、世帯収入から子どもを含む国民1人ひとりの可処分所得を仮に計算し、順番に並べたとき、真ん中の人の額を中央値、その中央値の半分の額を貧困線といい、貧困線に満たない子どもがいる世帯員の割合を人数で対比した値をパーセントで発表したもの。